

教育科目	高度自動車工学 I		教育内容	自動車の構造・性能			学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	27 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. ハイブリッド車、圧縮天然ガス自動車 (CNG)、筒内噴射式ガソリンエンジン、コモンレール式高圧燃料噴射装置、無段変速機 (CVT)、車両安定制御装置、SRS エアバッグ及びプリテンショナ・シート・ベルトの概要、構造・機能、点検・整備について学び、理解することができる。						
授業概要	1. 新技術について、その構造を理解するとともに、エンジン及びシャシ全般の電子制御に関わる各種装置の構造・機能を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	5 回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	1 級自動車整備士 自動車新技術						

教育科目	高度自動車工学Ⅱ		教育内容	自動車の力学・数学、図面			学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	前期・後期	授業コマ数	9 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 自動車に作用する力や運動の法則について理解することができる。 2. J w c a d の操作方法及び図面の描き方を理解し、パソコンを使用して正しい図面の作成ができる。						
授業概要	1. 自動車に作用する力や、自動車の運動について学ぶ。 2. J w c a d を用い、パソコンの画面上で図面の作成を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	2回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	配布資料等						

教育科目	高度自動車工学Ⅲ		教育内容	電気・電子理論、材料、燃料・潤滑剤	学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ 単位数 2 単位
授業目標	1. 電気回路の診断に必要なデジタル式サーキットテスタの特性や取り扱いを理解できる。 2. 現在の自動車に使用されている自動車材料について理解できる。 3. 潤滑油の種類やそれぞれの特性、また、メンテナンスの重要性を理解できる。				
授業概要	1. 電気回路の基本、電気回路の診断に必要なデジタル式サーキットテスタの特性や使用方法について学ぶ。 2. 最新の自動車材料、潤滑油の種類やそれぞれの特性、メンテナンスの重要性を学ぶ。				
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）	
	小テスト	前期	3回・後期	回	前期 回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト				
評定基準	『坪内学園教務規程』による				
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授				
使用 テキスト等	1級自動車整備士 エンジン電子制御装置				

教育科目	高度自動車整備 I		教育内容	エンジン、シャシ			学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	47 コマ	単位数	5 単位
授業目標	1. 外部診断器、オシロスコープ、サーキットテスタなどの機器を用いた、エンジン、シャシ全般の点検方法を理解できる。						
授業概要	1. エンジン、シャシ電子制御装置について、回路及び制御の方法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	3回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	1級自動車整備士 エンジン電子制御装置 1級自動車整備士 シャシ電子制御装置						

教育科目	高度自動車整備Ⅱ		教育内容	電装、故障原因探求			学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 外部診断器、オシロスコープ、サーキットテスタなどの機器を用いた、シャシ全般の故障原因探求の方法を理解できる。						
授業概要	1. 外部診断器、オシロスコープ、サーキットテスタなどの機器を用いた、シャシ電子制御装置の故障診断の方法について学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	2回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	1級自動車整備士 シャシ電子制御装置 1級自動車整備士 エンジン電子制御装置						

教育科目	高度自動車整備Ⅲ		教育内容	総合診断、環境保全、安全管理		学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	29 コマ	単位数 3 単位
授業目標	1. 自動車整備事業及びサービス役務について理解し、接客に必要な応酬話法を理解できる。 2. 環境保全とその必要性を理解できる。 3. 災害が発生する仕組み、災害発生を防ぐための注意点、対処法などを理解できる。					
授業概要	1. 自動車整備事業及びサービス役務について理解し、接客に必要な応酬話法を学ぶ。 2. 環境保全とその必要性、関係法令を学ぶ。 3. 災害が発生する仕組み、災害発生を防ぐための注意点、対処法などを学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト	前期	2回・後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	1級自動車整備士 総合診断・環境保全・安全管理					

教育科目	高度機器の構造・取扱		教育内容	整備作業機器、測定機器			学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	前期・後期	授業コマ数	9 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>1. オシロスコープ、デジタルオシロスコープの基本原理及び測定方法を理解できる。 また、プローブの取り扱いについても理解をすることができる。</p> <p>2. エンジン電子制御装置の信号波形の測定方法、外部診断器の診断機能の活用方法を理解できる。</p>						
授業概要	1. 自動車に用いられている電気装置及び各種電子制御装置の点検に必要な外部診断器、オシロスコープの取り扱い方法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1回	前期	回・後期	回
	評価方法 小テスト、定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	一級自動車整備士 エンジン電子制御装置						

教育科目	高度自動車検査		教育内容	検査機器、自動車検査			学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	9 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 振動計・騒音計の取り扱い方法、使用方法を理解できる。 2. 自動車に関する保安基準について理解できる。						
授業概要	1. 自動車の振動・騒音の診断に必要な、振動計、騒音計の取り扱い方法、使用方法を学ぶ。 2. 自動車に関する保安基準について学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	法令教材 1級自動車整備士 シヤシ電子制御装置						

教育科目	高度自動車整備に関する法規		教育内容	法規			学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	18 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 道路運送車両法の自動車の点検・検査・整備の基準など、自動車に関わる法規制について理解できる。						
授業概要	1. 道路運送車両法の自動車の点検、検査、整備の基準など、自動車に関わる法規制について学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	2回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	法令教材						

教育科目	高度サービス・マネジメント I		教育内容	サービスアドバイザー、販売士		学科
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	94 コマ	単位数 10 単位
授業目標	1. ビジネスの場でのサービス接遇というものの、具体的な考え方、行動の仕方、話法などを理解し、活用する事ができる。					
授業概要	1. 社会人として知っておかなければならない基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢、日常の業務の遂行に欠かせない業務知識などについて学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	(後期)	その他 (レポートなど)		
	小テスト	前期	2回	後期	2回	前期 回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	配布資料					

教育科目	高度測定作業		教育内容	応用計測			実習
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 外部診断器、オシロスコープ、サーキットテスタ、振動分析器、自動車検査機器を用いた各種測定ができ、測定結果を用いた診断ができる。						
授業概要	1. 外部診断器、オシロスコープ、サーキットテスタを用いた自動車の電気回路の測定方法を学ぶ。 2. 振動・騒音分析器を使用し、振動や騒音の測定方法を学ぶ。 3. 自動車検査機器を使用し、保安基準との適合性について学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1回・後期 回		
	評定方法 レポート、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等							

教育科目	高度自動車整備作業 I		教育内容	エンジンの点検・分解・組立・調整・検査		実習
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	84 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. 車両及び共用工具の丁寧な取扱い及び作業時の安全の確保を自ら行え、分解・組立・点検作業を整備標準時間で行うことができる。					
授業概要	1. エンジンの脱着方法とエンジンの仕組みを学ぶ。 2. 作業を通じて安全作業と作業効率の向上を考える。 3. エンジン電子制御システムについて学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 2回・後期 回	
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等						

教育科目	高度自動車整備作業Ⅱ		教育内容	シャシの点検・分解・組立・調整・検査		実習
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	76 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. 車両及び共用工具の丁寧な取扱い及び作業時の安全の確保を自ら行え、分解・組立・点検作業を整備標準時間で行うことができる。					
授業概要	1. シャシ構成部品の脱着方法と仕組みを学ぶ。 2. シャシ電子制御システムについて学ぶ。 3. 作業を通じて安全作業と作業効率の向上を考える。					
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	(後期)	その他(レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 2回・後期 2回	
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等						

教育科目	高度自動車整備作業Ⅲ		教育内容	電装の点検・分解・組立・調整・検査 故障原因探求		実習
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	前期・後期	授業コマ数	100 コマ	単位数 5 単位
授業目標	1. 車両を使用し、車検整備を行い、予防整備の方法を習得できる。 2. 作業効率を考えながら、無駄な動きをなくす作業手順を習得できる。 3. 受付から作業説明までの対応の仕方を習得できる。					
授業概要	1. 電装部品の脱着方法と仕組みを学ぶ。 2. 自動車の故障原因の探求方法を学ぶ。 3. 作業を通じて安全作業と作業効率の向上を考える。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 2回
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等						

教育科目	高度自動車検査作業		教育内容	自動車検査			実習
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 車両を使用し、車検整備を行い、予防整備の方法を習得できる。 2. 作業効率を考えながら、無駄な動きをなくす作業手順を習得できる。						
授業概要	1. 様々な車種に対応した定期点検項目についての作業が確実に行え、かつ分解・組立・点検作業を整備標準時間で行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 レポート、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等							

教育科目	高度工業・社会 I		教育内容	学習発表会、総合体育、企業関連	教養
学 科 開講学年	自動車総合学科 3年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	34 コマ 単位数 3 単位
授業目標	1. 協力、公正などの態度を育てると共に、健康の維持と体力の向上を図る。 2. 履歴書の書き方、面接の姿勢・受け答え方などを習得できる。 3. 企業を研究し、企業側からの説明を聞き、就職活動に役立てることができる。 4. ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献することの大切さを知ることができる。				
授業概要	1. 整備士に必要な体力や体の使い方を体育を通して学ぶ 2. 履歴書の書き方、面接などの方法を学ぶ。企業を研究し、その成果を発表する。 3. 周辺地域でのボランティア活動などを行う。				
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	(後期)	その他（レポートなど）	
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1回・後期 1回
	評定方法 レポート等				
評定基準	『坪内学園教務規程』による				
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授				
使用 テキスト等					